

令和4年度 那覇港におけるマリーナ関連施設等検討業務
特記仕様書

1 業務概要

令和4年4月に策定した那覇港長期構想においては、浦添ふ頭地区の交流・賑わい空間のコンセプトとして、「浦添の自然環境を活かし牧港補給地区跡地と一体的利用を想定した観光・ビジネス拠点の形成」や「大型クルーザー等に対応したマリーナの整備」を挙げている。

本業務は、浦添ふ頭地区に計画している（仮称）浦添マリーナについて、日本に寄港している船舶の実績や世界的な動向、周辺地域でのレクリエーション需要等を把握した上で、（仮称）浦添マリーナが具備すべきマリーナの性格と機能及び（仮称）浦添マリーナ周辺に整備される関連施設との連携の可能性について検討し施設配置案の作成を行うものである。

2 業務期間

契約締結日の翌日から令和5年3月31日

3 業務内容

業務内容は下記のとおり。

那覇港におけるマリーナ関連施設等検討業務				
種別	内容	単位	数量	備考
計画準備、協議・報告	計画準備、事前協議、中間報告、最終報告	式	1	
事例収集	国内外の主要マリーナの事例収集	式	1	
マリーナ施設配置案の作成	マリーナが具備すべき機能、望ましい機能を検討し施設配置案を作成	式	1	
イメージパースの作成	イメージパースの作成	式	1	
報告書作成	報告書の作成	式	1	

4 業務仕様

4-1 総則

本特記仕様書に定めのない事項については、国土交通省港湾局編集の「港湾設計・測量・調査等業務仕様書」及び沖縄県土木建築部制定の「設計業務等共通仕様書」に基づき実施しなければならない。

4-2 検討業務

(1) 計画準備、協議・報告

①本業務を行うにあたって目的及び内容を把握し、業務の手順及び遂行に必要な事項を整理する。

②協議・報告は、以下の段階で調査職員と協議・報告を行う。

初 回：計画準備段階

中 間：中間打合せ（2回）

最 終：報告書作成段階

（2）事例収集

①国内外主要マリーナを対象として、本業務の検討に資すると考えられるマリーナを複数抽出し、マリーナの性格・規模・利用状況、プレジャーボート収容状況等について整理する。

②マリーナを活用した観光・レクリエーション資源の利用状況等について整理する。

③対象とする施設は抽出したマリーナから2施設程度に絞り込み、現地調査及びヒアリングを行うものとする。

現地調査では以下を想定している。

(a) 国内1施設：現地・ヒアリング

(b) 国外1施設：WEBを想定

(c) 県内複数施設：現地・ヒアリング

④対象施設は、調査職員と協議の上決定する。

（3）施設配置案の作成

事例収集した内容を評価し、（仮称）浦添マリーナの基本概念を以下の（a）～（c）に掲げる点に留意し整理する。その上で（仮称）浦添マリーナにおいて、経済振興に資するために必要な導入機能を検討し（仮称）浦添マリーナの施設配置案を作成する。また、その施設整備に要する概算事業費を算出する。

(a) 交流・賑わい空間に整備されるホテルや商業施設、緑地、牧港補給地区跡地等周辺地域等との連携

(b) 観光の高付加価値化に資する国内外の需要の取り込み

(c) 市民・県民等の豊かで快適な生活環境の創出

（4）イメージパース図の作成

①市民、県民及び関係者に対し当該マリーナ等施設をイメージしやすくするようにパース図の作成を行う。

②パース図は4点（遠景、近景等）程度とするが、増減については協議の上決定する。

4-3 報告書の作成

報告書を取りまとめ作成する。報告書の作成にあたっては、検討内容・分析結果等について適切に整理するとともに、調査において入手したデータ、資料等についても取りまとめることとする。

5 成果品

本業務の成果品として提出するものは次のとおりとする。

業務報告書 ・ ・ ・ ・ ・ 2部（黒表紙金文字）

電子媒体（CD-R） / ・ ・ ・ ・ ・ 1式

6 その他

- (1) 本特記仕様書に記載なき事項については疑義が生じた場合は、調査職員と協議するものとする。
- (2) 本業務を遂行するにあたって知り得た事項は、当組合の許可なく他に流用してはならない。